

花き園芸関係導入植物リスト

横井政人・安藤敏夫・上田善弘
(花き園芸学研究室)

A List of Recently Introduced Specimen or Ornamental Plants in the Faculty of Horticulture, Chiba University.

Masato, YOKOI, Toshio, ANDO, Yoshihiro, UEDA

はじめに

世界は狭くなったと言われるが、植物導入を生業とする者には、世界は果てしなく広い様に思われるであろう。ひとたび海外に出れば、まだ日本で見ることのない植物にすぐ出会うはずである。まして品種レベルともなると毎年次々と新たな植物が育成されていくのだから、植物導入の仕事には果てがない。

千葉大学にも、先人によって導入された植物が数多く栽植されている。本学に導入された個体が親木となって増殖され、全国に広まった例もあって、園芸のれい明期の事情を断片的に伝える石井勇義編「園芸大辞典」には、本学に導入された植物の記事が散見される。往時の交通、通信事情からすれば、植物導入には大変な苦労が伴ったと推定されるが、残念なことに本学自体には、導入した植物を記録するシステムがなく、今ではいつ誰がどの様にして導入したものか、全く分からなくなってしまったものが多いのである。

植物を導入することは、本学だけの課題に留まらず、遺伝資源を蓄積すべき国家の課題であると考え、これは気負い過ぎであろうか。1787年に創刊された月刊誌、Curtis's Botanical Magazine は、イギリスに導入された植物を記載し続けて今年で200年を迎える。さほど厚くないこの雑誌が、第一図版に *Iris persica* の彩色版面を載せてから、綿々と10000以上の図版を掲げ、解説を加えて今日に至ったのである。これは明らかに国家的業務であって、イギリス人の面目躍如たるものがある。この例を引くまでもなく、彼らに比べ私達は導入植物を記録する事にあまり重きを置かないでやってきた。このことを深く反省し、ここに導入された植物をしっかりと記録にとどめる業務を始めたい。後塵を拝すと言うには、あまりに遅きではあるが、私達には今、柏新農場の建設という絶好の機会が与えられているのである。白紙状態の土地が準備されつつあり、今ならそこに植栽される全ての植物の完全な記録を残す事が可能なのだから。

ここで、なぜ当該講座が植物導入に関与するのか、簡単に説明しておきたい。それは花き園芸界の体質と関連している。花き園芸界には、切花や鉢物だけに留まらず、庭園や環境緑化用をも含め、全ての用途範囲をカバーする視野をもって、新たな植物素材を探す強烈な欲求が存在する。観賞植物に対する人の嗜好は、はっきり遠心的である。外へ外へと新しい素材を求める結果、私達は実に多様な植物を扱わざるを得ないこととなるのである。新しい植物を導入しようという意向は、花き園芸界共通の体質と言えるのである。今まで、実に様々な格好で植物が導入されてきたが、残念ながらその記録はほとんど無く、現在日本にどんな植物素材が存在するのか、的確に知る術はないのである。導入植物の名称が混乱していることの遠因にも正確な導入記録が欠落していることが挙げられるであろう。少なくとも私達は人後に落ちることなく、しっかりと記録を残したいと思う。

植物を導入育成し、なおかつ正確な記録に残す事は大層厄介な業務である。実績からすると、年間1000種類の植物を導入育成する業務(種子系900種類各々12株と栄養系100種類各々1株の栽培管理、ラベル管理、リスト管理、種子交換業務、通信など)には、延べ3000時間前後の作業が必要となる程である。しかもその一部には充分訓練された専門知識の豊富な人材を必須とする過程が含まれる。この様な事情から、このリストに含まれる植物は、当面次のように限定された範囲のものにならざるを得ない。

まず、このリストは当面花き園芸学講座の教官が主導したかたちで導入された植物を扱うこととなる。もっとも、当然ではあるが、その内容は単一講座に固有な課題ではないから、いずれしかるべき体制を整えて、全学規模に広げることを検討すべきであろう。

次に、耐寒性のある樹木と強健な宿根草が中心となり、加温温室を必要とするものは数少ないはずである。もっとも無加温ハウスで越冬する程度の耐寒性をもつ植物も一部含まれるかもしれない。これはあくまで管理が容易

で、今の体制でも可能な植物より始めるからである。

リストに挙げられる植物には、日本に初めて導入されたものだけでなく、既に導入済みで広く栽培されているものや、既に学内に導入されているものも含まれるであろう。また日本に自生する植物も含まれるはずである。とにかく、導入される植物全てについてその記録を残す必要があると考えるからである。もっとも同じ植物が複数ヶ所から導入された場合、一部を廃棄する場合も考えられるが、この場合自生地から採取され、しかも詳しく採取場所の分かるものを優先する方針としている。

このリストに載せられた全ての植物には、ラベルが付与されているはずである。そのラベルには、少なくともこのリストにある「導入コード」が明記されており、更に代表的な個体には、学名、和名、自生地も書き加えられているはずである。とにかく、学内にある植物で、ラベルが付与されており、「導入コード」が記されていれば、このリストと照合することによって、導入に係わる全ての情報を手に入れられる体制としたい。

このリストは導入後4年以上経過した時点でまとめられる予定である。松戸の環境で栽培しにくいものをその間にふるい落とし、相当の大きさに育ち、以降の順調な生育が確実なものだけを挙げることにする。従って、リストの番号は飛び飛びになるはずである。導入されたものの、発芽しなかったり、途中で枯死してしまった植物の記録は、全てカードに残されている。またリストに掲載された後に枯死した場合には、リストを訂正する形で逐次対応する予定である。

導入植物リストの構成

以下のリストは、「導入記録」、「解説」、「導入先詳細」、「引用文献」、「属名昇順索引」及び「訂正」から構成される。以下に主要部分を記載する際の約束事を略記する。

A 導入記録

P系（苗として導入されたもの）とS系（種子として導入され、育成されたもの）に分けて、学名、和名、科名、寄贈者あるいは導入者、由来、自生地等を英語あるいはローマ字とカタカナで簡潔に記載する。ここで、英語で書くのは、日本人以外の寄贈者に配慮したものである。

例

導入コード-----学名-----

81 P-10 *Magnolia sieboldii* K. Koch

1: Oyamarenge オオヤマレンゲ 和名

2: Magnoliaceae モクレン科 科名

3: Ando, T. 寄贈者あるいは導入者名等

4: Mt. Odae, Korea 苗あるいは種子の由来地名

5: W-Japan, Korea 植物の自生範囲

「導入コード」の記載

導入年度（西暦）の下2桁+導入時形態コード+ハイフン+年度内通し番号

導入時形態コード

P: 苗として導入されたもの

S: 種子として導入され、育成されたもの

年度は1月1日から12月31日まで

「学名」の記載

◎導入時に与えられていた学名が現在採用されていないものである場合は、現在の学名の後ろに括弧で挟んで、導入時の学名を記載する。

◎日本原生の植物に関しては、

1: Ohwi, J., (1965), Flora of Japan, Smithsonian Institution, Washington, D. C.

2: Walker, E. H., (1976), Flora of Okinawa and the Southern Ryukyu Islands, Smithsonian Institution Press, Washington, D. C.

のいずれかに準拠する。

◎日本以外に原生する植物に関しては、

1: 李昌福, (1979), 大韓植物図鑑, 郷文社, Seoul (朝鮮半島)

2: 中国科学院中国植物誌編集委員会編, 中国植物誌, 科学出版社, 北京 (中国)

3: 中国科学院植物研究所編, (1972-1976), 中国高等植物図鑑, 科学出版社, 北京 (中国)

4: 台湾植物誌編集委員会編, (1975-1979), 台湾植物誌, 現代関係出版社, 台北 (台湾)

5: Elias, T. S., (1980), The Complete Trees of North America, Van Nostrand Reinhold Co., New York (北米樹木)

6: Radford, A. E., H. E. Ahles and C. R. Bell, (1964), Manual of the Vascular Flora of the Carolinas, Univ. North Carolina Press, Chapel Hill, N. C. (北米東部)

7: Munz, P. A. and D. D. Keck, (1959, 1968), A California Flora and Supplement, Univ. California Press, Berkeley, Ca. (北米西部)

8: Tutin, T. G., V. H. Heywood, N. A. Burges, D. H. Valentine, S. M. Walters, D. A. Webb, P. W. Ball and A. O. Chater, (1964-1980), Flora Europaea, Cambridge at the Univ. Press (欧州)

9: Hooker, J. D. and B. D. Jackson, (1895-1981),

Index Kewensis and Supplementum, Oxford Univ. Press (その他)

のいずれかに準拠する。

◎学名を上述の文献以外に準拠する場合には、解説の項でその旨を明記する。

◎著者名の形式を統一するために、著者名は

Encke, F., G. Buchheim and S. Seybold, (1984),
Zander Handwörterbuch der Pflanzennamen,
Eugen Ulmer GmbH & Co., Stuttgart

の著者名索引 (Autoren der Pflanzennamen) に従って記載する。

◎亜種は, ssp. (subsp.) 変種は var., 地域型は f., 栽培品種は cv. を頭に置く。

◎属名の分からない場合は, ? とする。

◎種小名の分からない場合は, sp. とする。

◎園芸品種で高度の雑種の場合は, 種小名以下を省略し, 属名+品種名とする。

1: 「和名」の記載

◎和名は, ローマ字とカタカナで記載する。

◎日本に原生する植物の場合は, 先の Ohwi, J. (1965) あるいは Walker, E. H. (1976) に準拠する。

◎日本に原生のない植物の場合は
最新園芸大辞典, 誠文堂新光社
に準拠する。

◎和名の無い場合は…とする。

◎これら以外から和名を引く場合には, 解説の項に引用文献を記載する。

2: 「科名」の記載

◎科名はラテン語名と和名を記載する。

◎科名は

山岸高旺ら編, (1974), 植物系統分類の基礎, 北隆館
に従う。

◎科名の分からない場合は, ? とする。

◎科名に対して和名の無い場合は, 1文字空けて, 後ろに…を加える。

3: 「寄贈者あるいは導入者名等」の記載

◎寄贈者が苗あるいは種子を千葉大学まで届けてくれた場合には, 3項に寄贈者名を記載する。

◎国内外を問わず, 寄贈者から, 郵送, 宅配などで, 苗あるいは種子が送られて来た場合にも, 3項に寄贈者名を記載する。

◎国内で苗の寄贈を受けた場合は, たとえ職員が持ち帰ったとしても, 3項には寄贈者名を記載する。従って, 国内の場合, 持ち帰った職員の名前は, ここに記載されないが, 「解説」の最後尾の記号で, そ

の職員名が判断できる。

◎種子交換で種子を導入した場合は, 3項に導入先の植物園等の名称, 種子リストの年号及びリスト番号を記載する。

◎海外で苗の寄贈を受け, 職員が持ち帰った場合は, 3項に職員の略称を記載する。必要に応じ導入先を解説の項に記す。

◎国内外を問わず, 職員が自生地で苗あるいは種子を採取し, 持ち帰った場合は, 3項に職員の略称を記載する。

◎公費で苗あるいは種子を購入した場合には, 3項に Chiba Univ. と記載する。

◎職員が私費で苗あるいは種子を購入し, 寄贈した場合には, 3項にその職員の略称を記載する。

◎人名は, Family Name を先とし, (コンマ) と Given Name を続ける。

◎寄贈者の名については可能な限り略称は用いない。但し, 職員名の場合には, Given Name は, 頭文字だけとする。

4: 「苗あるいは種子の由来地名」の記載

◎由来地が不明の場合は, この項を…とする。

◎自生していた苗あるいは自生植物から採られた種子を導入した場合は, その地名を可能な限り詳細に記載する。

◎栽培されていた苗あるいは栽培されていた植物由来する種子の場合は, 「Cultivated in」の後に, 植栽施設名と地名を記載する。3項に記載する植栽施設と地名は, 略称でよいが, 国名は省略しない。この場合は「導入先詳細」の項で, 植栽施設と地名を詳細に記載する。

5: 「植物の自生範囲」の記載

◎品種及び自生地の判断できない種は, この項を…とする。

◎10カ国を越えず, 国名が分かる場合は可能な限り, 国名を記載する。

◎7文字以内の国名は略称としない。

◎国の一部にのみ自生する時は, N (北), S (南), C (中央) と, E (東), W (西) を組み合わせて表示する。N, S, C, を先に, E, W, を後に書き, これに - (ハイフン) を続け, 国名を加える。

◎州, 省, 県等の一部にのみ自生する時は, N (北), S (南), C (中央) と, E (東), W (西) を組み合わせて表示する。N, S, C, を先に, E, W を後に書き, これに - (ハイフン) を続け, 州名, 省名, 県名等を加える。

◎10カ所を越えない限り, 州, 省, 県等の名称を具体

的に記載する。この際は、国名に続けて括弧内に記載する。

◎日本自生の植物の場合は、日本全域に分布しない限り、少なくとも地域名は記載する。

◎県名を記載する場合は、Pref.あるいはPrefectureは入れない。

B 解説

例

80 P-8 *Acer serrulatum* Hayata

ナカハラカエデ(金平, 1936)。落葉性高木。自生地では樹高 20 m に達する。松戸で極めて旺盛な生育を示す。

(A)

86 S-157 *Cupressus goveniana* Gord. (= *C. pygmaea* (Leem.) Sarg.)

カシウイトスギ(園芸大辞典)。常緑性亜高木。自生地では、樹高 8 m に達する。(A)

86 P-49 *Stewartia pseudo-camellia* Maxim.

ナツツバキ。落葉性高木。樹高 20 cm の実生苗。2 株導入。(Y)

80 S-3 *Acer davidii* Franch.

落葉性高木。自生地では樹高 15 m に達する。日本のウリハダカエデと同じく、Pax (1885)の設けた *Macrantha* 節に属する。(A)

80 P-4 *Wistaria brachybotrys* Sieb. et Zucc. cv. Kinki

ヤマフジ品種「錦皮」。花色は桃色で、樹皮が暗色粗皮となる品種。(A)

◎解説はその植物の導入に最も深く関わった職員が記載し、文末に括弧に挟んで記載者のイニシャルを記す。

◎1行目は、記載部の導入コード及び学名と同一とする。

◎2行目の先頭には、和名とその引用文献、年号を記す。日本に自生する植物の場合は引用文献は省く。また最新園芸大辞典から引用した場合は、年号を必要としない。

本来日本産ではないが、古くに導入され、普通に植栽されている植物については、引用文献を省く場合もある。

◎和名に続いて、その植物の一般的な性質を簡単にまとめる。例えば「落葉性低木」。

◎次いで、推定される植物の最終的な大きさを記載する。但し、藤本の場合はこれを省く。

◎以降の記載は自由であるが、特にその植物を栽培す

る意義に重点を置いた記載に努める。また、歴史的な背景はしっかり記載する。

C 導入先詳細

例

Cooper, Susan M. (Mrs.)

Churchfields House, Cradley, Nr. Malvern, Worcs, WR13 5LJ, England

Strybing Arboretum

9th Ave. & Lincoln Way, Golden Gate Park, San Francisco, Ca., 94122 U. S. A.

Tomiyama, Masakatsu (Mr.)

富山昌克, 千葉大学園芸学部園芸学科

Yoshie, Seiro (Mr.)

吉江清郎, 南壮園, 399-04 長野県上伊那郡辰野町辰野 2006

◎1行目は記載部の3項そのままを記載し、個人の場合はそれに(性別)を加える。

◎漢字で書ける人名の場合には、2行目の先頭に、漢字で書く。

◎寄贈者が会社、植物園等の施設に所属する場合には、人名に続いてその施設名を記す。

◎千葉大学の職員と学生の場合は、「千葉大学…学部…学科」のみとする。

◎所属と住所は、導入時のものを記載する。

導入植物リスト 1980年

P系：苗として導入されたもの

80 P-1 *Microtropis japonica* (Fr. et Sav.) H. Hal-
lier.

- 1: Moku-reishi モクレイシ
- 2: Celastraceae ニシキギ科
- 3: Hirose, Kenji
- 4: Cultivated in Hirose Nurseries, Yokohama, Japan
- 5: SW-Japan (Chiba, Kanagawa, Shizuoka, Kyushu, Okinawa), Taiwan

80 P-4 *Wistaria brachybotrys* Sieb. et Zucc. cv.
Kinpi

- 1: Yamafuji ヤマフジ：キンピ
- 2: Leguminosae マメ科
- 3: Ando, T.
- 4: Cultivated in Toshi Ando's garden, Hanakoganei, Tokyo, Japan
- 5: ...

80 P-5 *Wistaria floribunda* (Willd.) DC. cv.
Nagasaki-issai

- 1: Nodafuji ノダフジ：ナガサキイッサイ
- 2: Leguminosae マメ科
- 3: Ando, T.
- 4: Cultivated in Toshi Ando's garden, Hanakoganei, Tokyo, Japan
- 5: ...

80 P-6 *Acer kawakamii* Koidz.

- 1: Takasago-urikaede タカサゴウリカエデ
- 2: Aceraceae カエデ科
- 3: Chen, Suh-mei
- 4: Taiwan
- 5: Taiwan

80 P-7 *Acer* sp.

- 1: ?
- 2: Aceraceae カエデ科
- 3: Chen, Suh-mei
- 4: Taiwan
- 5: Taiwan, ?

80 P-8 *Acer serrulatum* Hayata

- 1: Nakahara-kaede ナカハラカエデ
- 2: Aceraceae カエデ科
- 3: Chen, Suh-mei
- 4: N to C-Taiwan

5: Taiwan

80 P-9 *Iris brevicaulis* Raf.

- 1: ...
- 2: Iridaceae アヤメ科
- 3: Yinger, Barry
- 4: ...
- 5: USA (Ohio to Kans. & southward to Ala. & Tex.)

80 P-10 *Wistaria floribunda* (Willd.) DC. cv. Ku-
chibeni

- 1: Nodafuji ノダフジ：クチベニ
- 2: Leguminosae マメ科
- 3: Ando, T.
- 4: Cultivated in Toshi Ando's garden, Hanakoganei, Tokyo, Japan
- 5: ...

80 P-11 *Wistaria floribunda* (Willd.) DC. cv.
Nishiki-fuji

- 1: Nodafuji ノダフジ：ニシキフジ
- 2: Leguminosae マメ科
- 3: Ando, T.
- 4: Cultivated in Toshi Ando's garden, Hanakoganei, Tokyo, Japan
- 5: ...

80 P-12 *Forsythia japonica* Mak. var. *subintegra*
Hara

- 1: Shodoshima-rengyo ショウドシマレンギョウ
- 2: Oleaceae モクセイ科
- 3: Ando, T.
- 4: Shodo island, Kagawa Pref., Japan
- 5: W-Japan (Shodo-jima)

S系：種子として導入され、育成されたもの

80 S-1 *Acer miyabei* Maxim.

- 1: Kurobi-itaya クロビイタヤ
- 2: Aceraceae カエデ科
- 3: Asano, Yoshito
- 4: Cultivated in Hokkaido University, Sapporo, Japan
- 5: N-Japan (Hokkaido, N-Honshu)

80 S-3 *Acer davidii* Franch.

- 1: Shina-kaede シナカエデ
- 2: Aceraceae カエデ科
- 3: Chollipo Arboretum
- 4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea

5: C, SE-China

解説

P系: 苗として導入されたもの

80 P-1 *Microtropis japonica* (Fr. et Sav.) H. Hallier.

モクレイシ。雌雄異株の常緑性小高木。2株導入されたが、雌雄の判別がまだなされていない。松戸では戸外で越冬するが生育は緩慢である。(A)

80 P-4 *Wistaria brachybotrys* Sieb. et Zucc. cv. Kinpi

ヤマフジ品種'錦皮'。岐阜県の業者から購入され、東京で栽培されていたもの。花色は桃色で、樹皮は暗色粗皮となる品種。(A)

80 P-5 *Wistaria floribunda* (Willd.) DC. cv. Nagasaki-issai

ノダフジ品種'長崎一才'。岐阜県の業者から購入され、東京で栽培されていたもの。(A)

80 P-6 *Acer kawakamii* Koidz.

タカサゴウリカエデ(金平, 1936)。落葉性高木。樹高20 mに達する。台湾山地からの採取品。日本の種に比べて、落葉が遅い。(A)

80 P-7 *Acer* sp.

台湾山地からの採取品。まだ種の同定がなされていない。ただし、タカサゴウリカエデ(80 P-6)に近縁と思われる、そのものか、その変種の可能性が高い。(A)

80 P-8 *Acer serrulatum* Hayata

ナカハラカエデ(金平, 1936)。落葉性高木。樹高20 mに達する。台湾の山地からの採取品。学名はLi (1977)に従った。和名は金平(1936)に従ったが、もともと金平は*A. oliverianum* Pax var. *nakaharai* Hayataにこの和名を当てていたものである。この種に対して、現在この学名が与えられている。松戸で極めて旺盛な生育を示す。種子系も81 S-5として後続している。(A)

80 P-9 *Iris brevicaulis* Raf.

極めて剛健な湿地を好む宿根草。自然雑種とされる場合もある。1979年に安藤がアメリカより、持ち帰ったもので、東京で栽培されていた。(A)

80 P-10 *Wistaria floribunda* (Willd.) DC. cv. Kuchibeni

ノダフジ品種'口紅'。岐阜県の業者から購入され、東京で栽培されていたもの。(A)

80 P-11 *Wistaria floribunda* (Willd.) DC. cv. Nishiki-fuji

ノダフジの斑入り品種'錦藤'。岐阜県の業者から購入され、東京で栽培されていたもの。(A)

80 P-12 *Forsythia japonica* Mak. var. *subintegra* Hara

ヤマトレンギョウの変種ショウドシマレンギョウ。小豆島特産の変種。落葉性低木。小豆島の寒霞溪に自生するものの枝から、挿し木増殖された。母種に比べて、葉に鋸歯が少なく、花にやや緑色を含む。この株は栄養系のためか、果実を付けない。2株導入。(A)

S系: 種子として導入され、育成されたもの

80 S-1 *Acer miyabei* Maxim.

クロビイタヤ。落葉性高木。寒冷地に自生するにもかかわらず、松戸で暑がることなく、旺盛な生育を示す。(A)

80 S-3 *Acer davidii* Franch.

シナカエデ(上原, 1959-1969)。落葉性高木。自生地では樹高15 mに達する。日本のウリハダカエデ、ウリカエデ、ホソエカエデ、ヤクシマオナガカエデ、シマウリカエデと同じく、Pax (1885-1886)の設けたMacrantha節に属する。若い幹が緑色地に褐色の縞のはいる、いわゆるSnake Bark Mapleである。この節は、東亜と北米東部に隔離分布することが知られている。北米東部には、*A. pennsylvanicum* L. 1種がある。(A)

導入先詳細

Asano, Yoshito (Mr.)

浅野義人, 北海道大学農学部, 060 札幌市北九条西九丁目

Chen, Suh-mei (Mrs.)

程素梅, 千葉大学大学院園芸学研究所

Chollipo Arboretum

C. Ferris Miller (Mr.), 344-16 Yonhui-dong, Sodaemun-ku, Seoul, 120 Korea

Hirose, Kenji (Mr.)

広瀬憲二, 広瀬農園, 240 神奈川県横浜市保土ヶ谷区藤塚町180

Yinger, Barry (Mr.)

Chollipo Arboretum, San 185, Uihang-ni, Sowon-myon, Sosan-gun, Chungchong Namdo, Korea

引用文献

金平亮三, (1936), 台湾樹木誌, 台湾総督府中央研究所

林業部

Li, Hui-lin, (1977), *Aceraceae in Flora of Taiwan*, 3:

574-582, Epoch Pub. Co., Ltd., Taipei, Taiwan.

Pax, F., (1885-1886), *Monographie der Gattung Acer.*,

Bot. Jahrb. 6: 287-394, 7: 177-263.

上原敬二, (1959-1969), *樹木大図説*, 有明書房

導入植物リスト 1981年

- P系：苗として導入されたもの
- 81 P-1 *Nyssa sylvatica* Marsh.
 1 : Numa-mizuki ヌمامイズキ
 2 : Nyssaceae ニッサ科
 3 : Ando, T.
 4 : Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea,
 Seeds from Georgia, U. S. A.
 5 : E-USA
- 81 P-3 *Nyssa ogeche* Bartr. ex Marsh.
 1 : ...
 2 : Nyssaceae ニッサ科
 3 : Ando, T.
 4 : Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea,
 Seeds from Georgia, U. S. A.
 5 : SE-USA (Ga., Fla., S. C.)
- 81 P-4 *Aristolochia manshuriensis* Kom.
 1 : ...
 2 : Aristolochiaceae ウマノスズクサ科
 3 : Ando, T.
 4 : Mt. Odae, Korea
 5 : Korea, C, NE-China (Liaoning, Jilin,
 Heilongjiang, Shanxi, Shaanxi, Gansu)
- 81 P-5 *Populus koreana* Rehd.
 1 : Chirimen-doro チリメンドロ
 2 : Salicaceae ヤナギ科
 3 : Ando, T.
 4 : Mt. Odae, Korea
 5 : Korea, NE-China (Heilongjiang, Jilin)
- 81 P-6 *Neviusia alabamensis* A. Gray
 1 : ...
 2 : Rosaceae バラ科
 3 : Ando, T.
 4 : Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5 : SE-USA (Ala., Ark., Mo.)
- 81 P-7 *Illicium floridanum* Ellis
 1 : ...
 2 : Illiciaceae シキミ科
 3 : Ando, T.
 4 : Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5 : SE-USA (La., Miss., Ala., Fla.)
- 81 P-8 *Illicium parviflorum* Michx.
 1 : ...
 2 : Illiciaceae シキミ科
- 3 : Ando, T.
 4 : Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5 : SE-USA (Fla.)
- 81 P-9 *Magnolia macrophylla* Michx.
 1 : O-ba-taisanboku オオバタイサンボク
 2 : Magnoliaceae モクレン科
 3 : Ando, T.
 4 : Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5 : SE-USA (Va., Ga., Fla., Ala., Miss., Tenn.,
 Ky., N. C., S. C.)
- 81 P-10 *Magnolia sieboldii* K. Koch
 1 : Oyama-rence オオヤマレンゲ
 2 : Magnoliaceae モクレン科
 3 : Ando, T.
 4 : Mt. Odae, Korea
 5 : W-Japan, Korea
- 81 P-11 *Bumelia lycioides* (L.) Pers.
 1 : ...
 2 : Sapotaceae アカテツ科
 3 : Ando, T.
 4 : Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5 : SE-USA (N. C., S. C., Ga., Fla., Ala., Miss.,
 Tenn.)
- 81 P-12 *Cephalanthus occidentalis* L.
 1 : Tamagasa-no-ki タマガサノキ
 2 : Rubiaceae アカネ科
 3 : Ando, T.
 4 : Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5 : USA, Mexico
- 81 P-13 *Gymnocladus dioica* (L.) K. Koch
 1 : America-saikachi アメリカサイカチ
 2 : Leguminosae マメ科
 3 : Ando, T.
 4 : Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5 : C, NE-USA
- 81 P-14 *Hydrangea quercifolia* Bartr. cv. Snow
 Flake
 1 : ...
 2 : Saxifragaceae ユキノシタ科
 3 : Ando, T.
 4 : Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5 : ...
- 81 P-15 *Osmanthus americanus* (L.) Benth. et
 Hook. f. ex A. Gray
 1 : America-hiiragi アメリカヒイラギ
 2 : Oleaceae モクセイ科

- 3: Ando, T.
4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
5: SE-USA (La., Miss., Ala., Fla., Ga., S. C., N. C., Va.)
- 81 P-16 *Persea palustris* Sarg.
1: ...
2: Lauraceae クスノキ科
3: Ando, T.
4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
5: SE-USA (Tex., La., Miss., Ala., Fla., Ga., S. C., N. C., Va.)
- 81 P-17 *Diervilla lonicera* Mill.
1: ...
2: Caprifoliaceae スイカズラ科
3: Ando, T.
4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
5: E-USA
- 81 P-18 *Paulownia kawakamii* Y. Ito
1: Taiwan-girl タイワンギリ
2: Bignoniaceae ノウゼンカズラ科
3: Ando, T.
4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
5: SE-China (South of Changjiang River), Taiwan
- 81 P-19 *Calycanthus floridus* L.
1: Kurobana-robai クロバナロウバイ
2: Calycanthaceae ロウバイ科
3: Ando, T.
4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
5: SE-USA (N. C., S. C., Ga., Fla., Ala., Miss., Tenn.)
- 81 P-20 *Acer mandshuricum* Maxim.
1: Manshu-kaede マンシュウカエデ
2: Aceraceae カエデ科
3: Ando, T.
4: Mt. Odae, Korea
5: Korea, NE-China (Heilongjiang, Jilin, Liaoning)
- 81 P-21 *Acer pseudo-sieboldianum* (Paxt.) Kom.
1: Tou-hauchiwa-kaede トウハウチワカエデ
2: Aceraceae カエデ科
3: Ando, T.
4: Mt. Odae, Korea
5: Korea, NE-China (E-Heilongjiang, SE-Jilin, E-Liaoning)
- 81 P-22 *Acer truncatum* Bunge
1: Manshu-itaya-kaede マンシュウイタヤカエデ
2: Aceraceae カエデ科
3: Ando, T.
4: Mt. Odae, Korea
5: Korea, C, NE-China (Jilin, Liaoning, Nei Monggol, Hebei, Shanxi, Shandong, N-Jiangsu, Henan, Shaanxi, Gansu)
- 81 P-23 *Acer triflorum* Kom.
1: Oni-megusurinoki オニメグスリノキ
2: Aceraceae カエデ科
3: Ando, T.
4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
5: Korea, NE-China (Heilongjiang, Jilin, Liaoning)
- 81 P-24 *Acer barbinerve* Maxim.
1: Usuge-kaede ウスゲカエデ
2: Aceraceae カエデ科
3: Ando, T.
4: Mt. Odae, Korea
5: Korea, NE-China (Heilongjiang, Jilin, Liaoning)
- 81 P-25 *Acer tegmentosum* Maxim.
1: Manshu-urihada-kaede マンシュウウリハダカエデ
2: Aceraceae カエデ科
3: Ando, T.
4: Mt. Odae, Korea
5: Korea, NE-China (Heilongjiang, Jilin, Liaoning)
- 81 P-26 *Acer takesimense* Nakai
1: Okino-hauchiwa オキノハウチワ
2: Aceraceae カエデ科
3: Ando, T.
4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
5: Korea (Ullung Island)
- 81 P-27 *Acer griseum* (Franch.) Pax
1: ...
2: Aceraceae カエデ科
3: Ando, T.
4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
5: C-China (SW-Henan, S-Shaanxi, SE-Gansu, W-Hebei, E-Sichuan)
- 81 P-28 *Acer olivaceum* Fang et P. L. Chiu
1: ...

- 2: Aceraceae カエデ科
 3: Ando, T.
 4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5: CE-China (Zhejiang, S-Anhui, E-Jiangxi)
- 81 P-29 *Pittosporum* sp.
 1: ...
 2: Pittosporaceae トベラ科
 3: Ando, T.
 4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5: China, ?
- 81 P-30 *Cornus mas* L.
 1: Seiyō-sanshuyu セイヨウサンシュユ
 2: Cornaceae ミズキ科
 3: Ando, T.
 4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5: C, SE-Europe
- 81 P-31 *Actinidia melanandra* Franch.
 1: ...
 2: Actinidiaceae マタタビ科
 3: Ando, T.
 4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5: C-China (Sichuan, Yunnan, Gansu, Shaanxi, Henan, Hubei, Hunan, Jiangxi, Anhui, Zhejiang, Fujian)
- 81 P-32 *Schisandra sphaenantha* Rehd. et Wils.
 1: ...
 2: Schisandraceae マツブサ科
 3: Ando, T.
 4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5: C-China (Gansu, Shaanxi, Shanxi & southward to NE-Yunnan, Guizhou, Hunan, Hubei, Jiangxi, Jiangsu)
- 81 P-33 *Cryptomeria japonica* (L. f.) D. Don cv. Senbon-ao-sugi
 1: Sugi スギ: センボンアオスギ
 2: Taxodiaceae スギ科
 3: Yoshie, Seiro
 4: Cultivated in Nanso-en Nurseries, Nagano Pref., Japan
 5: ...
- 81 P-34 *Elliottia racemosa* Muhlenb. ex Elliott
 1: America-ho-tsutsuji アメリカホツツジ
 2: Ericaceae ツツジ科
 3: Ando, T.
 4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5: SE-USA (NE-Ga., SW-S. C.)
- 81 P-35 *Gelsemium sempervirens* (L.) Ait. f.
 1: Carolina-Jasmin カロライナジャスミン
 2: Loganiaceae マチン科
 3: Ando, T.
 4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5: SE-USA (Miss., Tenn., Ala., Ga., Fla., S. C., N. C., Va.)
- 81 P-36 *Campsis radicans* (L.) Seem. cv. Flava
 1: America-nozen-kazura アメリカノウゼンカズラ: フラバ
 2: Bignoniaceae ノウゼンカズラ科
 3: Ando, T.
 4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5: ...
- S系: 種子として導入され, 育成されたもの
- 81 S-2 *Acer triflorum* Kom.
 1: Oni-megusurinoki オニメグスリノキ
 2: Aceraceae カエデ科
 3: Ando, T.
 4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5: Korea, NE-China (Heilongjiang, Jilin, Liaoning)
- 81 S-5 *Acer serrulatum* Hayata
 1: Nakahara-kaede ナカハラカエデ
 2: Aceraceae カエデ科
 3: Ando, T.
 4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5: N to C-Taiwan
- 81 S-6 *Cimicifuga racemosa* Nutt.
 1: ...
 2: Ranunculaceae キンポウゲ科
 3: Yinger, Barry
 4: ...
 5: SE-USA (Va., Ga., Tenn., Ky., W. Va., N. C., S. C.)
- 81 S-7 *Cercis canadensis* L.
 1: America-hanazuou アメリカハナズオウ
 2: Leguminosae マメ科
 3: Yinger, Barry
 4: ...
 5: SE-USA

解説

P系：苗として導入されたもの

81 P-1 *Nyssa sylvatica* Marsh.

ヌマミズキ (林ら, 1985). 落葉性高木. 樹高 40 m に達する. 松戸で旺盛な生育を示すが, 著しい直根性で移植によって枯れ込みやすい. 紅葉が美しい. *Nyssa* 属は, 北米東部と東亜に隔離分布する典型的な例で, 北米東部に 3 種, 中国南部からヒマラヤに約 7 種がある. 北米東部には本種他, *N. ogeche* (81 P-3) と *N. aquatica* L. が知られる. (A)

81 P-3 *Nyssa ogeche* Bartr. ex Marsh.

落葉性亜高木. 樹高 18 m に達する. 松戸では, *N. sylvatica* (81 P-1) に比べて生育速度が劣る. やはり直根性で移植には注意が必要である. 葉は, *N. sylvatica* より大きい. (A)

81 P-4 *Aristolochia manshuriensis* Kom.

落葉性藤本. 直径 30 cm に及ぶ大きな葉を広げ, 温帯性の *Aristolochia* の中では, 特異な存在である. 内面が黄色の花冠は直径 3 cm 程で, 観賞に耐える. 既に開花をみているが, 結実しない. 移植に問題があり, また挿し木繁殖も困難といわれる. (A)

81 P-5 *Populus koreana* Rehd.

チリメンドロ. 落葉性高木. 北村と村田 (1979) は本種を認めず, ドロヤナギ (*P. maximowiczii* Henry) と同一とみなしている. Ohwi (1965) は本種が北海道に希産すると認めているものの, 一応保留した格好になっている. 一方, この植物の採取された韓国では, 李 (1979) に見られるごとく, 本種が明確に認識されているので, ここではこの意見に従うこととする. 松戸で旺盛に生育するが, 著しくテツポウムシに弱い. (A)

81 P-6 *Neviusia alabamensis* A. Gray

1 属 1 種の落葉性小低木. アメリカでは, 極めて希に産する植物として知られ, 分布はアパラチア山脈の南端の少数の点にのみ限定されている. 本属は極東と北米東部に隔離分布する属の代表的な例として知られ, 極東のヤマブキ属 (*Kerria*) およびシロヤマブキ属 (*Rhodotypos*) (83 S-162) に対応する. 花卉を欠くため, 観賞的にはヤマブキやシロヤマブキに及ばない. 雌ずいは 3 数性で, ヤマブキの 5 数性, シロヤマブキの 4 数性と異なる. また, 明らかな花序を形成する点も両者と異なる. 育てると決して弱い植物ではなく, 松戸でも旺盛に育ち, 地下茎を引いて増殖していく. しかし, 本株からはまだ種子が得られておらず, 別のクローンの導入が望まれる. (A)

81 P-7 *Illicium floridanum* Ellis

常緑性小高木. 樹高 8 m に達する. *Illicium* (シキミ属) は, 北米東部と東亜に隔離分布する属の一例で, 北米東部に 2 種 (本種と, *I. parviflorum* (81 P-8)), 日本に 1 種 (シキミ), 中国に 13 種程が知られる. 本種の葉には脈に沿った凹凸があって平滑ではない. 葉に著しい香気がある. 花は赤色で直径 3 cm 程度であるが, なかなか目立つ存在である. 松戸で旺盛な生育を示す. (A)

81 P-8 *Illicium parviflorum* Michx.

常緑性小高木. 花は赤色であるが, *I. floridanum* (81 P-7) に比べてやや小振りである. また葉は小さく平滑全縁である. やはり松戸で旺盛な生育を示すが, 雪によって枝が折れやすい. (A)

81 P-9 *Magnolia macrophylla* Michx.

落葉性高木. アメリカ産の *Magnolia* のなかでは, 最大の葉を持つ. 一見葉は日本のホオノキに似ているが, 葉脚は鈍型ないしは心臟型であり, 区別できる. 1 本導入. 細根の少ない直根性であることが予想されるので, 移植時には充分注意が必要である. 既に初花をみている. (A)

81 P-10 *Magnolia sieboldii* K. Koch

オオヤマレンゲ. 落葉性小高木. 本種は日本の他, 朝鮮半島にも分布する. 韓国の山中の自生地から数本の株を持ち帰ったが, 1 株だけが残った. 北村と村田 (1979) によれば, 朝鮮半島産のものは葉柄が太く, 主脈上に毛があるとされる. (A)

81 P-11 *Bumelia lycioides* (L.) Pers.

アカテツ科の *Bumelia* は, 南北アメリカに約 30 種が知られている. 本種は刺のある灌木で, 松戸の戸外では半常緑性を示す. 一見ピラカンサに似ているが, 茎は直立する. 観賞植物としては, 殆ど意味がないであろうが, 科あるいは属の教育用植物となるであろう. 生育はやや緩慢である. 4 株導入. (A)

81 P-12 *Cephalanthus occidentalis* L.

タマガサノキ (上原, 1959-1969). 落葉性低木. 樹高は 2 m 程度. アメリカ合衆国では, カリフォルニアにもあるが, 東部に広く分布する. 特に川沿いや湖の周囲の湿地に多い. 日本のタニワタリノキ属 (*Adina*) に近縁で, しばしばこれを *Cephalanthus* に含める見解がとられる. 自生地では半陰地にも生育するが, 栽培すると日陰の枝は枯れ込みやすい. 5 株導入された. (A)

81 P-13 *Gymnocladus dioica* (L.) K. Koch

アメリカサイカチ (上原, 1959-1969). 落葉性高木. 樹高 35 m に達する. 2 種からなる本属は東亜と北米東部に著しい隔離分布を示すことで知られる. この種はアメリカ合衆国の北東部に分布するが, 他方の *G. chinensis* Baill. は中国中部に産する. アメリカでは, Kentucky

Coffe Tree と呼ばれ、重要な緑陰樹となっている。初期生育は極めて遅いが、成木となると広大な樹冠を広げる。雌雄異株であるから、雌雄を揃えたいものであるが、2本導入された株の雌雄性はまだ判断できない。種子から多くの苗を育成すべきであろう。以前に横井が1株導入していたが、枯死してしまった。(A)

81 P-14 *Hydrangea quercifolia* Bartr. cv. Snow Flake

Hydrangea quercifolia の八重咲き品種、スノー・フレーク。Tom Dodd, Jr. (Tom Dodd Nurseries, Inc., P. O. Drawer 45, Semmes, Alabama, U. S. A.) によって山中で発見され、氏によって命名された品種。最近わが国で流通している八重品種と同一の栄養系と思われる。花は豪華であるが、あまりに重いため、雨に打たれると花序がうなずいてしまうのが欠点である。1株導入されたが、挿し木繁殖されて、現在20株程度となっている。野生型は既に導入されていた1株の他、種子由来の数株(83 S-50)が後続している。(A)

81 P-15 *Osmanthus americanus* (L.) Benth. et Hook. f. ex A. Gray

アメリカヒイラギ(上原, 1959-1969)。雌雄異株の常緑性亜高木。1株導入された。この株は雌雄ずいとも健全に見えるが、果実を生じない。開花期は春で、緑色の小花は芳香も僅かである。全縁の葉は光沢があって、モッコクに似た感がある。生育は旺盛である。別のクローンの導入が期待される。(A)

81 P-16 *Persea palustris* Sarg.

常緑性亜高木。中米原生の熱帯果樹であるアボカド(*Persea americana* Mill.)と同属である。一見全体がシラカシに似ていて、豪壮である。果径は1-2 cmと小さいが、耐寒性が強い点は育種素材として一考されるべきであろう。5株導入されているが、樹形などに若干ばらつきがある。北米には、もう1種、*P. barbonia* (L.) Spreng. が分布する。(A)

81 P-17 *Diervilla lonicera* Mill.

落葉性のか弱な小低木。*Diervilla* 属はタニウツギ属(*Weigela*)に近縁で、かつてはこの属に含められていた。本属は1あるいは2種で構成され、北米東部に分布する。2種とされる場合には、*D. sessilifolia* Buckley が区別される。東亜に分布する *Weigela* と一対にされて、東亜と北米東部隔離分布の一例とされている。松戸での生育速度は遅く、なかなか大きな株に育たない。(A)

81 P-18 *Paulownia kawakamii* Y. Ito

タイワンギリ(金平, 1936)。落葉性高木。一応この名で導入されたが、開花に至った時点で種の同定をすべきである。播種直後の幼苗として導入され、そのうち4株

を育成した。(A)

81 P-19 *Calycanthus floridus* L.

クロバナロウバイ(園芸大辞典)。落葉性低木。クロバナロウバイ属(*Calycanthus*)は、アメリカ合衆国東部と中国に隔離分布する。今日、アメリカには *C. floridus* 1種と認識されており、以前の *C. fertilis* や *C. nanus* は、この種の変種とされている。種子で繁殖された多少形状の異なる6株が導入された。中国の種は、*C. chinensis* Cheng et S. Y. Chang (= *Sinocalycanthus chinensis*) で、1963年に初めて記載されたもので、早期の導入が待たれる。(A)

81 P-20 *Acer mandshuricum* Maxim.

マンシュウカエデ(中井, 1915-1940)。山地に生じる落葉性高木で樹高は30 mに達する。繊細な感じを与える3出複葉の葉柄は赤く、目出しと紅葉が美しい。自生地の苗を10株導入。自生地では壮大な樹冠を広げるが、松戸ではやや暑がるのか、生育は中位である。北地の街路樹などに好適な素材であろう。(A)

81 P-21 *Acer pseudo-sieboldianum* (Paxt.) Kom.

トウハウチワカエデ(中井, 1915-1940)。落葉性小高木で樹高8 mに達する。自生地は日本のイロハモミジなどとよく似ていて、山中の半陰地に多い。松戸では生育は中位である。自生地の苗を11株導入。(A)

81 P-22 *Acer truncatum* Bunge

マンシュウイタヤカエデ(中井, 1915-1940)。落葉性亜高木で樹高10 mに達する。日本のイタヤカエデに似ているが、葉に欠刻が多い。自生地の苗を11株導入。(A)

81 P-23 *Acer triflorum* Kom.

オニメグスリノキ(中井, 1915-1940)。落葉性高木で樹高25 mに達する。3出複葉で日本のメグスリノキに似ているが、紅葉せず物足りない。韓国に自生する他の3出複葉のカエデである *A. mandshuricum* (81 P-20) が繊細な感じなのに対して、本種は豪壮な感じを与える。松戸では極めて旺盛な生育を示す。種子から育成された3株を導入。同時に種子としても導入された(81 S-2)。(A)

81 P-24 *Acer barbinerve* Maxim.

ウスゲカエデ(上原, 1959-1969)。アサノハカエデに近縁の種、落葉性小高木で樹高12 mに達する。自生地より10株導入したが、1株を残し枯死した。自生地では、林中に生育しており、松戸では夏季の強光と高温を避けて栽培する必要があるであろう。(A)

81 P-25 *Acer tegmentosum* Maxim.

マンシュウウリハダカエデ(中井, 1915-1940)。落葉性高木。樹高15 mに達する。自生地より1株導入。(A)

81 P-26 *Acer takesimense* Nakai

オキノハウチワ(中井, 1915-1940)。落葉性小高木。

本種は韓国鬱陵島の特産種で、極めて貴重なコレクションと考える。種子由来の苗を1株導入した。(A)

81 P-27 *Acer griseum* (Franch.) Pax

3出複葉の落葉性高木。樹高20mに達する。種子由来の1株が導入された。幹は光沢のある褐色で、樹皮がはげ落ちる。83 S-164として種子からも育成されている。(A)

81 P-28 *Acer olivaceum* Fang et P. L. Chiu

落葉性小高木。樹高10mに達する。種子由来の3株を導入した。(A)

81 P-29 *Pittosporum* sp.

中国産の常緑性灌木。既に開花結実をみているが、中国の文献が整備されるまで、種の同定を避けたい。松戸で旺盛な生育を示し、放任しても半円状となるため、庭園に取り入れても面白い素材である。但しやや節間が長く完全に樹冠を被わないので、刈り込みが必要となるかもしれない。また放任状態では雪に弱く枝が折れやすい欠点もある。(A)

81 P-30 *Cornus mas* L.

セイヨウサンシュユ(園芸大辞典)。落葉性小高木。樹高10mに達する。1株導入。(A)

81 P-31 *Actinidia melanandra* Franch.

落葉性藤本。1株導入。園芸的な価値はまだ分からない。(A)

81 P-32 *Schisandra sphaenantha* Rehd. et Wils.

常緑性藤本。この名で中国から導入されたが、*Kadzura* 属の可能性もあり、今後の検討を要する。(A)

81 P-33 *Cryptomeria japonica* (L. f.) D. Don cv. Senbon-ao-sugi

スギ品種‘千本青杉’。品種名は吉江清郎氏の命名。青杉であって、側枝が主幹に沿って立ち上がり、全体として箒状となる品種。挿し木苗7株導入。(A)

81 P-34 *Elliottia racemosa* Muhl. ex Ell.

アメリカホツツジ(上原, 1959-1969)。落葉性小高木。わが国に特産するホツツジ属(*Tripetaleia*)に近縁で、1属1種。分布域はU. S. A. 南東部に限られており、産量も極めて少ない。South Carolina州では既に絶滅しており、現在ではGeorgia州の極く一部にのみ自生する。ホツツジ属は花器が3数性であるが、この属は4数性である。これら近縁属は東亜と北米東部に隔離分布する代表的な例として知られている。*Elliottia*は、自生地では樹高10mに達するが、日本で栽培すると極めて生育が遅く、未だに5号鉢にあり、丈は20cm程度に留まる。成木になるまでは50%程度の遮光が必要に思われる。(A)

81 P-35 *Gelsemium sempervirens* (L.) Ait. f.

和名のカロライナジャスミンは、現在花店で使われて

いる名称。自生地では、Yellow Jessamine と呼ばれる。半常緑性藤本。この株は市井のものとは別クローンと考えられる。本属は東亜と北米東部に隔離分布することで知られる。アメリカ東部にはこの他、花の小型な *G. rankinii* Small. がある。アジアの種は *G. elegans* (Gardn. et Champ.) Benth. で、中国から南にインドまで分布する。(A)

81 P-36 *Campsis radicans* (L.) Seem. cv. Flava

アメリカノウゼンカズラ(園芸大辞典)の品種フラバ。落葉性藤本。野生型の花はくすんだオレンジ色であるが、この品種は黄色である。(A)

S系：種子として導入され、育成されたもの

81 S-2 *Acer triflorum* Kom.

オニメグスリノキ(中井, 1915-1940)。落葉性高木。同時に株としても導入された(81 P-23)。(A)

81 S-5 *Acer serrulatum* Hayata

ナカハラカエデ(金平, 1936)。苗として導入された1株が既に学内にある(80 P-8)。(A)

81 S-6 *Cimicifuga racemosa* Nutt.

半陰地を好む大型の宿根草。北米東部に自生するサラシナショウマ属。剛健である。(A)

81 S-7 *Cercis canadensis* L.

アメリカハナズオウ(園芸大辞典)。落葉性亜高木。中国のハナズオウに比べ、花は淡色でやや小さく、花付きも悪いので、観賞的にはメリットが少ない。生育は旺盛であるが、移植に問題があって、移植後枯れやすい。本種は北米東部の原生であるが、西部には *Cercis occidentalis* Torr. ex A. Gray がある。(A)

導入先詳細

Chollipo Arboretum

C. Ferris Miller (Mr.), 344-16 Yonhui-dong, Sodaemun-ku, Seoul, 120 Korea

Yoshie, Seiro (Mr.)

吉江清郎, 南壮園, 399-04 長野県上伊那郡辰野町辰野 2006

Yinger, Barry (Mr.)

Chollipo Arboretum, San 185, Uihang-ni, Sowon-myon, Sosan-gun, Chungchong Namdo, Korea

引用文献

林弥栄, 古里恒夫, 中村恒夫(1985), 原色樹木大図鑑,

北隆館

金平亮三, (1936), 台湾植物誌, 台湾総督府中央研究所
林業部

北村四郎, 村田源, (1979), 原色日本植物図鑑木本編II,
保育社

李昌福, (1979), 大韓植物図鑑, 郷文社, Seoul, Korea

中井猛之進, (1915-1940), 朝鮮森林植物編, 朝鮮総督府
林業試験場

Ohwi, Jisaburo, (1965), Flora of Japan., Smithsonian
Institute, Washington, D. C., U. S. A.

上原敬二, (1959-1969), 樹木大図説, 有明書房

導入植物リスト 1982年

P系：苗として導入されたもの

- 82 P-1 *Ribes henryi* Franch.
 1: ...
 2: Saxifragaceae ユキノシタ科
 3: Ando, T.
 4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5: C-China (Sichuan, W-Hubei)
- 82 P-2 *Nyssa sinensis* Oliv.
 1: ...
 2: Nyssaceae ニッサ科
 3: Yinger, Barry
 4: ...
 5: SE-China (S-Jiangsu, Zhejiang, Fujian, S-Anhui, Jiangxi, Hunan, Hubei, E-Sichuan, Guizhou, Yunnan, Guangxi, Guangdong)
- 82 P-4 *Acer truncatum* Bunge
 1: Manshu-itaya-kaede マンシュウイタヤカエデ
 2: Aceraceae カエデ科
 3: Yinger, Barry
 4: ...
 5: Korea, C, NE-China (Jilin, Liaoning, Nei Monggol, Hebei, Shanxi, Shandong, N-Jiangsu, Henan, Shaanxi, Gansu)

S系：種子として導入され、育成されたもの

- 82 S-3 *Catalpa speciosa* Warder
 1: Hana-kisasage ハナキササゲ
 2: Bignoniaceae ノウゼンカズラ科
 3: Thompson & Morgan Co., Seed List 1982, # 9204
 4: ...
 5: C-USA (Ind., Ill., Ky., Mo., Tenn., Ark.)
- 82 S-4 *Catalpa ovata* G. Don
 1: Kisasage キササゲ
 2: Bignoniaceae ノウゼンカズラ科
 3: Thompson & Morgan Co., Seed List 1982, # 9293
 4: ...
 5: C, N-China (Cangjiang River and northward)

- 82 S-5 *Cercis siliquastrum* L.
 1: Seiyo-zuo セイヨウズオウ
 2: Leguminosae マメ科
 3: Thompson & Morgan Co., Seed List 1982, # 9306
 4: ...
 5: S-Europe
- 82 S-6 *Chionanthus virginicus* L.
 1: America-hitotsuba-tago アメリカヒトツバタゴ
 2: Oleaceae モクセイ科
 3: Thompson & Morgan Co., Seed List 1982, # 9318
 4: ...
 5: E-USA
- 82 S-10 *Nyssa sylvatica* Marsh.
 1: Numa-mizuki ヌマミズキ
 2: Nyssaceae ニッサ科
 3: Thompson & Morgan Co., Seed List 1982, # 9582
 4: ...
 5: E-USA
- 82 S-15 *Berberis koreana* Palib.
 1: Chosen-megi チョウセンメギ
 2: Berberidaceae メギ科
 3: Chollipo Arboretum, Seed List 1982, # 14
 4: Kyonggido, Mt. Obong, Korea
 5: Korea
- 82 S-25 *Fraxinus rhynchophylla* Hance
 1: Chosen-toneriko チョウセントネリコ
 2: Oleaceae モクセイ科
 3: Chollipo Arboretum, Seed List 1982, # 49
 4: Kangwondo, Mt. Sorak National Park, Korea
 5: Korea, N, E-China
- 82 S-27 *Ilex cornuta* Lindl. et Paxt.
 1: Hiiragimochi ヒイラギモチ
 2: Aquifoliaceae モチノキ科
 3: Chollipo Arboretum, Seed List 1982, # 54
 4: Cholla Namdo, Kangjin-gun, Kangjin-up, Mr. So, Chong-yol's Garden, Korea
 5: E-China, Korea
- 82 S-33 *Lonicera insularis* Nakai
 1: Takeshima-kinginboku タケシマキンギンボク
 2: Caprifoliaceae スイカズラ科

- 3: Chollipo Arboretum, Seed List 1982, # 76
 4: Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5: Korea (Ullung island)

82 S-34 *Meliosma oldhamii* Miq. ex Maxim.

- 1: Fushinoha-awabuki フシノハアワブキ
 2: Sabiaceae アワブキ科
 3: Chollipo Arboretum, Seed List 1982, # 79
 4: Cholla Namdo, Mt. Mudung, Korea
 5: W-Japan (Yamaguchi, Tsushima), Korea, Taiwan, China

82 S-43 *Syringa velutina* Kom. var. *kamibayashii* (Nakai) T. Lee

- 1: Maruba-hashidoi マルバハシドイ
 2: Oleaceae モクセイ科
 3: Chollipo Arboretum, Seed List 1982, # 96
 4: Kangwon-do, Mt. Soraku National Park, Korea
 5: Korea

解説

P系: 苗として導入されたもの

82 P-1 *Ribes henryi* Franch.

常緑性蔓状小低木。成葉は3深裂して光沢がある。前年に持ち帰ったが、植物検疫のための隔離栽培が行われて、翌年の導入となった。半日陰では極めて剛健で、枝の先から根を下ろして増殖して行く。地下茎は出さない様子である。今後、半陰地の地被植物として有望であろう。(A)

82 P-2 *Nyssa sinensis* Oliv.

落葉性高木。*Nyssa* は東亜と北米東部に隔離分布する。アメリカにある3種の内、2種は既に導入されている(81 P-1, 81 P-3)。アメリカの種に比べ、幼苗時に葉の欠刻が著しい。中国にはこの他に、6種が報告されている。ひげ根の少ない直根性と考えられるので、移植の際には十分な配慮が必要である。種子由来の1株が導入された。上原(1959-1969)によれば、昭和33年に京都大に導入されているという。(A)

82 P-4 *Acer truncatum* Bunge

マンシュウイタヤカエデ(中井, 1915-1940)。この種は既に韓国産のものが、導入されているが(81 P-22), 82 P-4は中国産である。韓国産のものに比べ、葉が小さく、欠刻が著しく、また葉面が平坦でない。1株導入された。(A)

S系: 種子として導入され、育成されたもの

82 S-3 *Catalpa speciosa* Warder

ハナキササゲ(園芸大辞典)。落葉性高木。樹高30mに達する。(A)

82 S-4 *Catalpa ovata* G. Don

キササゲ(園芸大辞典)。落葉性亜高木。樹高8mに達する。キササゲ属(*Catalpa*)は、東亜と北米東部に隔離分布する。アメリカ合衆国には、ハナキササゲ(82 S-3)の他にアメリカキササゲ(*C. bignonioides* Walt.)が東南部にある。更に、西インドに約3種が知られる。また、キューバには関連属の*Macrocalpa*, 約2種がある。アジアでは、このキササゲの他、中国に約2種が知られている。いずれも生育が極めて早い。若いうちは風に弱く、枝が折れやすい。本学には既に、アメリカキササゲが導入されており、大木が浩気寮とC棟の間にある。(A)

82 S-5 *Cercis siliquastrum* L.

セイヨウズオウ(園芸大辞典)。樹高10mに達する落葉性亜高木。アメリカ東部産のアメリカハナズオウ(81 S-7)や中国産のハナズオウ(*C. chinensis* Bunge)に比べ初期生育は遅いが、成木はより大型となる。枝はまっすぐ伸びず、ジグザグとなる。また、樹幹も直立せず、斜上する性質が強い。(A)

82 S-6 *Chionanthus virginicus* L.

アメリカヒトツバダゴ(上原, 1959-1969)。落葉性小高木。樹高10mに達する。2種のみからなる*Chionanthus*(ヒトツバダゴ属)は、北米東部と東亜に隔離分布することで知られる。これは北米東部産である。剛健であるが、生育はやや緩慢である。移植によく耐える。既に今年樹高40cm程で開花をみた。日本、朝鮮半島、中国に分布するヒトツバダゴ(83 S-115)に比べ、やや大型の葉は平滑で鋸歯もなく柔らかな印象を与える。(A)

82 S-10 *Nyssa sylvatica* Marsh.

ヌマミズキ(林ら, 1985)。落葉性高木。苗として導入されたものが既に学内にある(81 P-1)。*Nyssa*属は、北米東部と東亜に隔離分布する。(A)

82 S-15 *Berberis koreana* Palib.

チョウセンメギ(中井, 1915-1940)。落葉性小低木。メギにしては大型で、枝が直立して樹高2mに達する。剛健である。(A)

82 S-25 *Fraxinus rhynchophylla* Hance

チョウセントネリコ(中井, 1915-1940)。落葉性亜高木で、樹高は10mに達する。(A)

82 S-27 *Ilex cornuta* Lindl. et Paxt.

ヒイラギモチ(園芸大辞典)。常緑性低木。樹高4mに

達する。(A)

82 S-33 *Lonicera insularis* Nakai

タケシマキンギンボク (中井, 1915-1940)。本種は韓国鬱陵島の特産種で、海岸に希産するという。壮大な灌木であって、極めて剛健であるが、その希産種であることと系統的に特異な存在であることから、保存する価値が高い。中井 (1915-1940) によれば、わが国のキンギンボクに近縁であるが、壮大で、葉幅は広く、花冠が規則正しく5裂せず、上下2裂する点で区別される。(A)

82 S-34 *Meliosma oldhamii* Miq. ex Maxim.

フシノハアワブキ。国内では山口県と対馬に産する高木。実生一年苗が松戸でも戸外で越冬する。北村と村田 (1971) は常緑と記載しているが、松戸では完全に落葉する。初期生育は緩慢であるが、3年生以降は旺盛な生育が期待できる。均整がとれた美しい樹形で、庭園樹として有望である。(A)

82 S-43 *Syringa velutina* Kom. var. *kamibayashii* (Nakai) T. Lee

落葉性小高木。和名のマルバハシドイは、中井 (1915-1940) が *Syringa palibiniana* Nakai var. *kamibayashii* Nakai にあてたもので、後にこれが *S. velutina* の変種とされた。この変種は朝鮮半島特産であるが、母種の *S. velutina* は朝鮮半島の他、中国東北部にも分布する。(A)

導入先詳細

Chollipo Arboretum

C. Ferris Miller (Mr.), 344-16 Yonhui-dong,
Sodaemun-ku, Seoul, 120 Korea

Thompson & Morgan Co.

London Road, Ipswich, Suffolk, IP2 OBA, Eng-
land

Yinger, Barry

Chollipo Arboretum; San 185, Uihang-ni,
Sowon-myon, Sosan-gun, Chungchong Namdo,
Korea

引用文献

林弥栄, 古里和夫, 中村恒夫, (1985), 原色樹木大図鑑,
北隆館

北村四郎, 村田源, (1971), 原色日本植物図鑑, 木本編
I, 保育社, 大阪

中井猛之進, (1915-1940), 朝鮮森林植物編, 朝鮮総督府
林業試験場

上原敬二, (1959-1969), 樹木大図説, 有明書房

導入植物リスト 1983年

P系：苗として導入したもの

- 83 P-1 *Rosa x alba* L. cv. Semiplena
 1: ...
 2: Rosaceae バラ科
 3: Suzuki, Seizo
 4: Keisei Rose Research Institute, Yachiyo, Chiba Pref., Japan
 5: ...
- 83 P-2 *Rosa centifolia* L.
 1: Seiyō-bara セイヨウバラ
 2: Rosaceae バラ科
 3: Suzuki, Seizo
 4: Keisei Rose Research Institute, Yachiyo, Chiba Pref., Japan
 5: ...
- 83 P-3 *Rosa moschata* J. Herrm.
 1: ...
 2: Rosaceae バラ科
 3: Suzuki, Seizo
 4: Keisei Rose Research Institute, Yachiyo, Chiba Pref., Japan
 5: S-Europe, N-Africa
- 83 P-4 *Rosa multiflora* Thunb.
 1: No-ibara ノイバラ
 2: Rosaceae バラ科
 3: Suzuki, Seizo
 4: Keisei Rose Research Institute, Yachiyo, Chiba Pref., Japan
 5: Japan, Korea
- 83 P-5 *Rosa multiflora* Thunb. var. *carnea* Thory
 1: ...
 2: Rosaceae バラ科
 3: Suzuki, Seizo
 4: Keisei Rose Research Institute, Yachiyo, Chiba Pref., Japan
 5: ...
- 83 P-6 *Rosa rugosa* Thunb. var. *alba* (Ware) Rehd.
 1: Shirobana-hama-nasu シロバナハマナス
 2: Rosaceae バラ科
 3: Suzuki, Seizo
 4: Keisei Rose Research Institute, Yachiyo, Chiba Pref., Japan
 5: ...
- 83 P-7 *Rosa sambucina* Koidz.
 1: Yama-ibara ヤマイバラ
 2: Rosaceae バラ科
 3: Iwasa, Ryoji
 4: Mt. Horai, Aichi Pref.
 5: CW-Japan (Honshu, Shikoku, Kyushu)
- 83 P-8 *Rosa spinosissima* L. var. *altaica* (Willd.) Bean
 1: ...
 2: Rosaceae バラ科
 3: Suzuki, Seizo
 4: Keisei Rose Research Institute, Yachiyo, Chiba Pref., Japan
 5: W-Asia
- 83 P-9 *Rosa x hibernica* Templeton
 1: ...
 2: Rosaceae バラ科
 3: Suzuki, Seizo
 4: Keisei Rose Research Institute, Yachiyo, Chiba Pref., Japan
 5: ...
- 83 P-10 *Rosa x kochiana* Koehne
 1: ...
 2: Rosaceae バラ科
 3: Suzuki, Seizo
 4: Keisei Rose Research Institute, Yachiyo, Chiba Pref., Japan
 5: ...
- 83 P-11 *Rosa* cv. Burnet Marbled Pink
 1: バラ：バーネット・マーブルド・ピンク
 2: Rosaceae バラ科
 3: Suzuki, Seizo
 4: Keisei Rose Research Institute, Yachiyo, Chiba Pref., Japan
 5: ...
- 83 P-12 *Rosa* cv. Canary Bird
 1: バラ：カナリー・バード
 2: Rosaceae バラ科
 3: Suzuki, Seizo
 4: Keisei Rose Research Institute, Yachiyo, Chiba Pref., Japan
 5: ...
- 83 P-13 *Rosa* cv. Frühlingmorgen
 1: バラ：フリューリングズモルゲン
 2: Rosaceae バラ科
 3: Suzuki, Seizo

- 4 : Keisei Rose Research Institute, Yachiyo,
Chiba Pref., Japan
5 : ...
- 83 P-14 *Rosa* cv. Frühlingsschnee
1 : バラ : フリュールングズシュネー
2 : Rosaceae バラ科
3 : Suzuki, Seizo
4 : Keisei Rose Research Institute, Yachiyo,
Chiba Pref., Japan
5 : ...
- 83 P-15 *Rosa* cv. Harison's Yellow
1 : バラ : ハリソンス・イエロー
2 : Rosaceae バラ科
3 : Suzuki, Seizo
4 : Keisei Rose Research Institute, Yachiyo,
Chiba Pref., Japan
5 : ...
- 83 P-16 *Rosa* cv. Soleil d'Or
1 : バラ : ソレイユ・ドール
2 : Rosaceae バラ科
3 : Suzuki, Seizo
4 : Keisei Rose Research Institute, Yachiyo,
Chiba Pref., Japan
5 : ...
- 83 P-17 *Rosa* cv. Velutiniflora
1 : バラ : ベルチニフロラ
2 : Rosaceae バラ科
3 : Suzuki, Seizo
4 : Keisei Rose Research Institute, Yachiyo,
Chiba Pref., Japan
5 : ...
- 83 P-18 *Rosa* cv. Williams' Double Yellow
1 : バラ : ウィリアムズ・ダブル・イエロー
2 : Rosaceae バラ科
3 : Suzuki, Seizo
4 : Keisei Rose Research Institute, Yachiyo,
Chiba Pref., Japan
5 : ...
- S系 : 種子として導入され, 育成されたもの
- 83 S-5 *Ilex decidua* Walt.
1 : ...
2 : Aquifoliaceae モチノキ科
3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1982,
15
- 4 : Mt. Curtain County, Oklahoma, U. S. A.
5 : SE-USA (Ky., Tenn., Miss., Ala., Fla., Ga.,
S. C., N. C., Va.)
- 83 S-9 *Ilex montana* Torr. et A. Gray
1 : ...
2 : Aquifoliaceae モチノキ科
3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1982,
19
4 : Henderson County, North Carolina, U. S.
A.
5 : E-USA (Va., Ga., Tenn., W. Va.)
- 83 S-35 *Kosteletskia virginica* (L.) Presl.
1 : ...
2 : Malvaceae アオイ科
3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1982,
129
4 : Anne Arundel County, Maryland, U. S. A.
5 : SE-USA (Va., N. C., S. C., Ga., Fla., Ala.,
Miss.)
- 83 S-47 *Rosa palustris* Marsh.
1 : ...
2 : Rosaceae バラ科
3 : U. S. National Arboretum Seed List 1982,
168
4 : Ocean County, New Jersey, U. S. A.
5 : NE-USA
- 83 S-49 *Hydrangea arborescens* L. ssp. *radiata*
(Walt.) McClintock
1 : ...
2 : Saxifragaceae ユキノシタ科
3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1982,
177
4 : Transylvania County, North Carolina, U.
S. A.
5 : SE-USA (Miss., Ala., Ga., Tenn., S. C., N.
C., Ky., W. Va., Va.)
- 83 S-50 *Hydrangea quercifolia* Bartr.
1 : ...
2 : Saxifragaceae ユキノシタ科
3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1982,
178
4 : DeKalb County, Alabama, U. S. A.
5 : SE-USA (Miss., Ala., Ga., Fla.)
- 83 S-61 *Abies procera* Rehd.
1 : Noble-momi ノーブルモミ
2 : Pinaceae マツ科

- 3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1982, # 198
 4 : Washington, U. S. A.
 5 : W-USA (Wash., Oreg., N-Ca.)
- 83 S-63 *Picea glauca* (Moench) Voss
 1 : Canada-tohi カナダトウヒ
 2 : Pinaceae マツ科
 3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1982, # 201
 4 : Minnesota, U. S. A.
 5 : NE-USA, Canada, Alaska
- 83 S-65 *Pinus aristata* Engelm.
 1 : ...
 2 : Pinaceae マツ科
 3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1982, # 203
 4 : New Mexico, U. S. A.
 5 : C-USA (Col., New Mex., Ariz.)
- 83 S-66 *Pinus banksiana* Lamb.
 1 : Banks-matsu バンクスマツ
 2 : Pinaceae マツ科
 3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1982, # 204-A
 4 : Michigan, U. S. A.
 5 : N-USA, Canada
- 83 S-69 *Pinus elliotii* Engelm.
 1 : Slash-matsu スラッシュマツ
 2 : Pinaceae マツ科
 3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1982, # 207-A
 4 : Alabama, U. S. A.
 5 : SE-USA (Miss., Ala., Ga., Fla., S. C., N. C., Va.)
- 83 S-72 *Pinus resinosa* Ait.
 1 : ...
 2 : Pinaceae マツ科
 3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1982, # 210-A
 4 : Minnesota, U. S. A.
 5 : NE-USA, SE-Canada
- 83 S-83 *Iris graminea* L.
 1 : ...
 2 : Iridaceae アヤメ科
 3 : Bot. Gart. Univ. Munster, # 10
 4 : ...
 5 : C, S-Europe to the Caucasus
- 83 S-84 *Iris aphylla* L.
 1 : ...
 2 : Iridaceae アヤメ科
 3 : Bot. Gart. Univ. Munster, # 11
 4 : ...
 5 : Bohemia and Silesia to the Caucasus
- 83 S-104 *Iris setosa* Pall. ex Link
 1 : Hiogi-ayame ヒオウギアヤメ
 2 : Iridaceae アヤメ科
 3 : Devonian Botanical Garden, # 18
 4 : ...
 5 : Japan, Korea, NE-USSR, Canada, E-USA
- 83 S-113 *Tsuga caroliniana* Engelm.
 1 : Carolina-tsuga カロライナツガ
 2 : Pinaceae マツ科
 3 : Land of the Sky Nurseries, # 1
 4 : ...
 5 : E-USA (N-Ga., W-S. C., W-N. C., W-Va., S-Tenn.)
- 83 S-115 *Chionanthus retusus* Lindl. et Paxt.
 1 : Hitotsuba-tago ヒトツバタゴ
 2 : Oleaceae モクセイ科
 3 : Chollipo Arboretum, Seed List 1983, # 50
 4 : Sokjon-ni, Hwasan-myon, Haenam-gun, CLND, Korea
 5 : C-Japan (S-Nagano, Aichi, Gifu, Mie, Tsushima), Korea, C, SE-China, Taiwan
- 83 S-118 *Staphylea trifolia* L.
 1 : America-mitsuba-utsugi アメリカミツバウツギ
 2 : Staphyleaceae ミツバウツギ科
 3 : Chollipo Arboretum, Seed List 1983, # 162
 4 : Woods near Swarthmore College, Penna, U. S. A.
 5 : E-USA
- 83 S-129 *Acer crataegifolium* Sieb. et Zucc.
 1 : Uri-kaede ウリカエデ
 2 : Aceraceae カエデ科
 3 : Chiba Univ., Seed List 1982, # 2
 4 : Mizunami, Gifu Prefecture, Japan
 5 : Japan (Honshu, Shikoku, Kyushu)
- 83 S-131 *Acer mono* Maxim.
 1 : (イタヤカエデ)
 2 : Aceraceae カエデ科
 3 : Chiba Univ., Seed List 1982, # 4
 4 : Mt. Fujiwara, Mie Prefecture, Japan

- 5 : Japan, Korea, China
- 83 S-132 *Acer palmatum* Thunb. ssp. *amoenum* (Carr.) Ohwi
 1 : O-momiji オオモミジ
 2 : Aceraceae カエデ科
 3 : Chiba Univ., Seed List 1982, # 5
 4 : Mt. Fujiwara, Mie Prefecture, Japan
 5 : Japan
- 83 S-133 *Acer rufinerve* Sieb. et Zucc.
 1 : Urihada-kaede ウリハダカエデ
 2 : Aceraceae カエデ科
 3 : Chiba Univ., Seed List 1982, # 6
 4 : Mt. Fujiwara, Mie Prefecture, Japan
 5 : Japan (Honshu, Shikoku, Kyushu)
- 83 S-135 *Callicarpa japonica* Thunb.
 1 : Murasakishikibu ムラサキシキブ
 2 : Verbenaceae クマツヅラ科
 3 : Chiba Univ., Seed List 1982, # 10
 4 : Mt. Fujiwara, Mie Prefecture, Japan
 5 : Japan, China, Taiwan
- 83 S-136 *Carpinus cordata* Bl.
 1 : Sawashiba サワシバ
 2 : Betulaceae カバノキ科
 3 : Chiba Univ., Seed List 1982, # 13
 4 : Mt. Fujiwara, Mie Prefecture, Japan
 5 : Japan, Korea, China
- 83 S-143 *Lindera obtusiloba* Bl.
 1 : Dankobai ダンコウバイ
 2 : Lauraceae クスノキ科
 3 : Chiba Univ., Seed List 1982, # 24
 4 : Mt. Fujiwara, Mie Prefecture, Japan
 5 : W-Japan, Korea, China
- 83 S-153 *Styrax obassia* Sieb. et Zucc.
 1 : Hakuunboku ハクウンボク
 2 : Styracaceae エゴノキ科
 3 : Chiba Univ., Seed List 1982, # 38
 4 : Cultivated near Imperial Palace, Tokyo, Japan
 5 : Japan, Korea, China
- 83 S-154 *Symplocos chinensis* (Lour.) Druce var. *leucocarpa* (Nakai) Ohwi f. *pilosa* (Nakai) Ohwi
 1 : Sawafutagi サワフタギ
 2 : Symplocaceae ハイノキ科
 3 : Chiba Univ., Seed List 1982, # 39
 4 : Mt. Fujiwara, Mie Prefecture, Japan
- 5 : Japan, Korea, China
- 83 S-155 *Symplocos paniculata* (Thunb.) Miq.
 1 : Kuromino-nishigori クロミノニシゴリ
 2 : Symplocaceae ハイノキ科
 3 : Chiba Univ., Seed List 1982, # 40
 4 : Mizunami, Gifu Prefecture, Japan
 5 : Japan, S-Korea
- 83 S-158 *Viburnum opulus* L. var. *calvescens* (Rehd.) Hara
 1 : Kanboku カンボク
 2 : Caprifoliaceae スイカズラ科
 3 : Chiba Univ., Seed List 1982, # 44
 4 : Mt. Fujiwara, Mie Prefecture, Japan
 5 : Japan, Korea, China, USSR
- 83 S-160 *Viburnum wrightii* Mig.
 1 : Miyama-gamazumi ミヤマガマズミ
 2 : Caprifoliaceae スイカズラ科
 3 : Chiba Univ., Seed List 1982, # 46
 4 : Aokigahara, Yamanashi Prefecture, Japan
 5 : Japan, Sakhalin, Korea, China
- 83 S-161 *Viburnum phlebotrichum* Sieb. et Zucc.
 1 : Otokoyozome オトコヨウゾメ
 2 : Oleaceae スイカズラ科
 3 : Chiba Univ., Seed List 1982, # 47
 4 : Aokigahara, Yamanashi Prefecture, Japan
 5 : Japan
- 83 S-162 *Rhodotypos scandens* (Thunb.) Mak.
 1 : Shiro-yamabuki シロヤマブキ
 2 : Rosaceae バラ科
 3 : Yinger, Barry
 4 : So-chong, Korea
 5 : W-Japan (Okayama), Korea, C, CE-China (Liaoning, Shandong, Henan, Shaanxi, Gansu, Anhui, Jiangsu, Zhejiang, Hubei)
- 83 S-163 *Viburnum carlesii* Hemsl.
 1 : Choji-gamazumi チョウジガマズミ
 2 : Oleaceae スイカズラ科
 3 : Yinger, Barry
 4 : So-chong, Korea
 5 : W-Japan (Kyushu, Shikoku, Chugoku), S-Korea
- 83 S-164 *Acer griceum* (Franch.) Pax
 1 : ...
 2 : Aceraceae カエデ科

- 3 : Yinger, Barry
 4 : Cultivated in Chollipo Arboretum, Korea
 5 : W-China (SW-Henan, S-Shaanxi, SE-Gansu, W-Hebei, E-Sichuan)
- 83 S-167 *Hovenia dulcis* Thunb.
 1 : Kenpo-nashi ケンポナシ
 2 : Rhamnaceae クロウメモドキ科
 3 : Ando, T.
 4 : Ashu, Kyoto Prefecture, Japan
 5 : Japan, Korea, China
- 83 S-178 *Edgeworthia papyrifera* Sieb. et Zucc.
 1 : Mitsumata ミツマタ
 2 : Thymelaeaceae ジンチョウゲ科
 3 : Chiba Univ.
 4 : Cultivated in Chiba University, Matsudo, Japan
 5 : SE-China
- 83 S-180 *Acer glabrum* Torr.
 1 : ...
 2 : Aceraceae カエデ科
 3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1983, # 1
 4 : Franklin County, Idaho, U. S. A.
 5 : W-USA, W-Canada, S-Alaska
- 83 S-191 *Sambucus canadensis* L.
 1 : America-niwatoko アメリカニワトコ
 2 : Caprifoliaceae スイカズラ科
 3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1983, # 29
 4 : Fairfax County, Virginia, U. S. A.
 5 : E-USA, SE-Canada
- 83 S-193 *Celastrus scandens* L.
 1 : America-ume-modoki アメリカウメモドキ
 2 : Celastraceae ニシキギ科
 3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1983, # 34
 4 : Mineral County, West Virginia, U. S. A.
 5 : SE-USA (Va., Ga., Ala., Miss., Tenn., Ky., W. Va., N. C., S. C.)
- 83 S-195 *Cornus amomum* Mill.
 1 : America-mizuki アメリカミズキ
 2 : Cornaceae ミズキ科
 3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1983, # 45
 4 : Anne Arundel County, Maryland, U. S. A.
- 5 : SE-USA (Va., Ga., Ala., Miss., Tenn., W. Va., N. C., S. C.)
- 83 S-197 *Juniperus virginiana* L.
 1 : Enpitsu-byakushin エンピツビャクシン
 2 : Cupressaceae ヒノキ科
 3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1983, # 60
 4 : Ocean County, New Jersey, U. S. A.
 5 : C, E-USA
- 83 S-210 *Crataegus douglasii* Lindl.
 1 : Virginia-zakura バージニアザクラ
 2 : Rosaceae バラ科
 3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1983, # 103
 4 : Franklin County, Idaho, U. S. A.
 5 : NW-USA, SW-Canada
- 83 S-211 *Prunus serotina* Ehrh.
 1 : ...
 2 : Rosaceae バラ科
 3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1983, # 106
 4 : Prince Georges County, Maryland, U. S. A.
 5 : C, E-USA, Mexico
- 83 S-213 *Parthenocissus quinquefolia* (L.) Planch.
 1 : America-zuta アメリカツタ
 2 : Vitaceae ブドウ科
 3 : U. S. National Arboretum, Seed List 1983, # 118
 4 : Anne Arundel County, Maryland, U. S. A.
 5 : E-USA

解説

P系：苗として導入されたもの

83 P-1 *Rosa x alba* L. cv. Semiplena

落葉性低木。樹高約 2 m。生育旺盛で、多数の白色半八重の花を付ける。

現代バラ成立の重要な祖先種の一つの品種。もとの種 (*Rosa x alba* L.) は自然交雑種と推定されている。(U)

83 P-2 *Rosa centifolia* L.

セイヨウバラ(園芸大辞典)。落葉性低木。樹高約 2 m。花色は桃色。現代バラ成立の重要な祖先種の一つで、花弁数が多いことから百弁バラとも呼ばれる。栽培起源の雑種と考えられている。(U)

83 P-3 *Rosa moschata* J. Herrm.

つる性の落葉性低木。現代バラ成立の重要な祖先種の一つ。ティー・ローズ (Tea Rose) の祖先種と考えられている。Synstylae 節に属し、ノイバラ同様、房咲の白色花をつける。(U)

83 P-4 *Rosa multiflora* Thunb.

ノイバラ。つる性の落葉性低木。日本の山野に自生する一般的な野生バラ。白色の房咲の花をつける。フロリバンダ・ローズ (Floribunda Rose) の重要な祖先種。(U)

83 P-5 *Rosa multiflora* Thunb. var. *carnea* Thory

つる性の落葉性低木。ノイバラの八重型で、淡い桃色が入る。(U)

83 P-6 *Rosa rugosa* Thunb. var. *alba* (Ware) Rehd.

シロバナハマナス。落葉性低木。樹高約 1-2 m。花色は白。耐寒性強く、欧州では本性質を利用した一連の系統 (ハイブリッド・ルゴース) ができている。(U)

83 P-7 *Rosa sambucina* Koidz.

ヤマイバラ。落葉性半藤本。山中にまれなバラで、中部地方南部以西に分布する (Ohwi, 1965)。本種は、北村 (1979) によれば西ヒマラヤからアフガニスタン以西に分布する *R. moschata* J. Herrm., ヒマラヤの *R. brunonii* Lindl. (= *R. moschata* var. *nepalensis* Lindl.) とともに同じ群に属し、西から東へ一帯に分布し、各地方で少し特殊化したものであろうと述べている。非常に伸長力旺盛なバラ。(U)

83 P-8 *Rosa spinosissima* L. var. *altaica* (Willd.) Bean

落葉性低木。樹高約 1.8 m。ハイブリッド・スピノシシマ系統 (HSpn) の片親である。Pimpinellifoliae 節に属し、4 倍体である。(U)

83 P-9 *Rosa x hibernica* Templeton

落葉性低木。樹高約 1-2 m に達する。本種は *R. canina* L. x *R. spinosissima* L. の交雑種。(U)

83 P-10 *Rosa x kochiana* Koehne

落葉性低木。樹高約 1 m の小さな低木。本種の親には *R. palustris* Marsh. x *R. spinosissima* L. という説 (Allen, R. C. et al., 1980) と *R. spinosissima* L. x *R. carolina* L. であるという説 (Krüssmann, 1974) がある。(U)

83 P-11 *Rosa* cv. Burnet Marbled Pink

落葉性低木。樹高約 1 m。 *R. spinosissima* に由来する品種。バーネット・ローズ (Burnet roses) のグループは 1790 年から 1825 年にかけてスコットランドの Brown や Austin によって *R. spinosissima* から育成された品種群である (Wylie, 1955 から)。(U)

83 P-12 *Rosa* cv. Canary Bird

落葉性低木。樹高約 1-2 m。本品種の親は *R. hugonis* Hemsl. x *R. xanthina* Lindl. と推定されている。日本では開花が早く、4 月下旬頃から開花。(U)

83 P-13 *Rosa* cv. Frühlingsmorgen

落葉性低木。樹高約 1-2 m。1930 年代から 1950 年代にかけて西ドイツの Kordes が *R. spinosissima* を用いて育成した耐寒性の品種群の一つ (Wylie, 1955)。1942 年に発表された品種で、親は (E. G. Hill x Cathrine Kordes) x *R. spinosissima* L. var. *altaica* (Willd.) Bean, HSpn に属する。(U)

83 P-14 *Rosa* cv. Frühlingschnee

落葉性低木。樹高約 1-2 m。83 P-13 の品種と同様 Kordes により 1954 年に発表された品種で、親は Golden Glow x *R. spinosissima* L. var. *altaica* (Willd.) Bean。(U)

83 P-15 *Rosa* cv. Harison's Yellow

落諸性低木。樹高約 1-2 m。本品種の親は *R. foetida* J. Herrm. var. *persiana* (Lemaire) Rehd. x *R. spinosissima* L. と推定されている。(U)

83 P-16 *Rosa* cv. Soleil d'Or

落葉性低木。樹高約 1 m。本品種は 1900 年フランスの Pernet-Ducher により初めて栽培バラに濃黄色が *R. foetida* var. *persiana* から導入された現代バラ発達の歴史的な品種。(U)

83 P-17 *Rosa* cv. Velutiniflora

落葉性低木。樹高約 1 m。 *R. gallica* L. の一品種。(U)

83 P-18 *Rosa* cv. Williams' Double Yellow

落葉性低木。樹高約 1 m。 *R. foetida* J. Herrm. が祖先種と考えられている。(U)

S 系：種子として導入され、育成されたもの。

83 S-5 *Ilex decidua* Walt.

雌雄異株の落葉性小高木。樹高 10 m に達する。直径 7 から 10 mm の赤い果実をつける。園芸的な価値は未検討。(A)

83 S-9 *Ilex montana* Torr. et A. Gray

雌雄異株の落葉性小高木。樹高 12 m に達する。直径 8 から 12 mm の赤い果実をつける。園芸的な価値は未検討。(A)

83 S-35 *Kosteletskia virginica* (L.) Presl.

汽水域の湿地を好む宿根草。直径 4 cm 程の桃色花は愛きょうがある。(A)

83 S-47 *Rosa palustris* Marsh.

落葉性低木。樹高約 1-2 m。 *Carolinae* 節に属する。(U)

83 S-49 *Hydrangea arborescens* L. ssp. *radiata* (Walt.) McClintock

落葉性灌木。樹高 2 m 程度で、この変種は母種と異なり、枝が斜上して株全体が半円状になる。装飾花は白で、観賞的にはこれといった特徴がない。(A)

83 S-50 *Hydrangea quercifolia* Bartr.

落葉性灌木。樹高は 2 m 程度。81 P-14 の母種である。学内には既に導入ずみの 1 株がある。種子系であるため花色に変異があつて、多少装飾花に紅を含む個体がある。(A)

83 S-61 *Abies procera* Rehd.

ノーブルモミ (上原, 1959-1969)。アメリカ西北部の多雪山岳地帯に分布する常緑性高木。= *A. nobilis* (Dougl.) Lindl. 英名 Noble Fir。樹高 50 m 前後に達するが、最初の 10~20 年は生育が遅く、結果年齢にはおよそ 50 年、目通し 50 cm に達するには 300 年を要するとされる。(A)

83 S-63 *Picea glauca* (Moench) Voss

カナダトウヒ (上原, 1959-1969)。北米の寒帯を中心に分布する常緑性高木。樹高 40 m に達する。(A)

83 S-66 *Pinus banksiana* Lamb.

バンクスマツ (上原, 1959-1969)。常緑性高木で樹高 25 m に達する。最も北に分布するマツとして知られる。果実は気温が 27°C を超えるか、野火に合わないといわれる。(A)

83 S-69 *Pinus elliottii* Engelm.

スラッシュマツ (林, 1969)。常緑性高木。樹高 35 m に達する。アメリカ東南部の平地に生じ、重要な林業樹である。生育は早い。(A)

83 S-72 *Pinus resinosa* Ait.

常緑性高木。樹高 30 m に達する。北米東部の五大湖からセント・ローレンス河周囲に分布する。(A)

83 S-113 *Tsuga caroliniana* Engelm.

カロライナツガ (上原, 1959-1969)。常緑性亜高木。樹高 15 m に達する。北米東部に分布する 2 種の *Tsuga* (ツガ属) の一つで、アパラチア山脈の Blue Ridge Mountains に限定して自生する。分布域は他方の種である *T. canadensis* (L.) Carr. の分布域の南端に重なる。(A)

83 S-115 *Chionanthus retusus* Lindl. et Paxt.

ヒトツバタゴ。落葉性亜高木。樹高 20 m に達する。日本では本州中部と対馬に希に生じるが、分布は広く中国は雲南省に及ぶ。2 種からなる *Chionanthus* (ヒトツバタゴ属) は、東亜と北米東部に隔離分布することで知られる。北米東部の種は *C. virginicus* で、既に実生系として導入されている (82 S-6)。(A)

83 S-118 *Staphylea trifolia* L.

アメリカミツバウツギ (上原, 1959-1969)。落葉性灌木。ミツバウツギ属。アメリカには、この他 *S. bolanderi* A. Gray がカリフォルニア州の Sierra Nevada 山脈に分布しているが、分布域は本種に比べ限定されている。(A)

83 S-129 *Acer crataegifolium* Sieb. et Zucc.

ウリカエデ。80 S-3 の解説で述べた、東亜と北米東部に隔離分布する *Macrantha* 節に属する。(A)

83 S-131 *Acer mono* Maxim.

現時点では、株の大きさからして、変種あるいは亜種レベルの同定は、時期尚早と考えられるので、*A. mono* までの判断としている。和名イタヤカエデは、北村によれば *A. mono* Maxim. ssp. *marmoratum* (Nichols.) Kitamura に当てられたものであるから、本来は適当でないが、ここでは仮にこの和名を当てている。いずれ、訂正される必要がある。(A)

83 S-133 *Acer rufinerve* Sieb. et Zucc.

ウリハダカエデ。既に導入ずみの 2 株が学内にある。80 S-3 の解説で述べた、東亜と北米東部に隔離分布する *Macrantha* 節に属する。(A)

83 S-162 *Rhodotypos scandens* (Thunb.) Mak.

シロヤマブキ。観賞用に普通に栽培される落葉性灌木。83 S-162 は韓国産である。日本での自生は岡山県の一部にのみ限定されるが、分布域は広く朝鮮半島から中国中部に及ぶ。*Kerria* (ヤマブキ属) と *Neviusia* (81 P-6) の 3 者を合わせて、東亜と北米東部に隔離分布する近縁属の例としてよく知られている。(A)

83 S-163 *Viburnum carlesii* Hemsl.

チョウジガマズミ。しばしば石灰岩地帯に自生する落葉性灌木。樹高は 2 m 程度。この 83 S-163 は韓国産である。(A)

83 S-164 *Acer griseum* (Franch.) Pax

株として導入されたものが既にある (81 P-27)。(A)

83 S-178 *Edgeworthia papyrifera* Sieb. et Zucc.

ミツマタ。落葉性灌木。付属農場のアカバナミツマタの種子から育成された。10 株開花に至ったが花色は全て野生型であった。(A)

83 S-180 *Acer glabrum* Torr.

落葉性小高木。樹高 9 m に達する。ロッキー山脈の川沿いなどのやや湿った樹林下に生じる。標高 1200-1800 m に多い。松戸ではやや暑がるのか、生育が緩慢である。(A)

83 S-191 *Sambucus canadensis* L.

アメリカトネリコ (園芸大辞典)。落葉性灌木。樹高 6 m に達することがある。アメリカ東部に広く分布する。

園芸的価値は未検討である。(A)

83 S-193 *Celastrus scandens* L.

アメリカウメモドキ(上原, 1959-1969). 落葉性藤本。アメリカ産のツルウメモドキ属の1種。アメリカではしばしば赤い実を觀賞するために植栽される。(A)

83 S-195 *Cornus amomum* Mill.

アメリカミズキ(園芸大辞典). 落葉性灌木。樹高3 m程度に達し、アメリカ東南部の樹林下に生育する。1株のみが生育したが、既に開花結実をみた。がく片は発達せず、觀賞的にはもの足りない。(A)

83 S-197 *Juniperus virginiana* L.

エンピツビャクシン(園芸大辞典). 常緑性高木でアメリカ東部に広く分布する。通常は雌雄異株といわれ、樹高20 mに達する。松戸では比較的生育が旺盛である。(A)

83 S-210 *Crataegus douglasii* Lindl.

落葉性小高木。アメリカ西北部に多いサンザン属の1種。樹高12 mに達する。園芸的価値は未検討。(A)

83 S-211 *Prunus serotina* Ehrh.

バージニアザクラ(上原, 1959-1969). 落葉性高木。樹高30 mに達する。アメリカ東部に広く分布する他、メキシコにも達する。ウワミズザクラ型の穂状花序を成す。生育は極めて旺盛である。(A)

83 S-213 *Parthenocissus quinquefolia* (L.) Planch.

アメリカツタ(園芸大辞典). 落葉性藤本。アメリカ東部に広く分布する。*Parthenocissus*(ツタ属)は東亜と北米東部に隔離分布する例として知られる。本種は北米東部にある3種の一つ。生育旺盛である。(A)

引用文献

- Allen, R. C. and Meikle, C. E., (1980), *Modern Roses* 8., McFarland Company, Harrisburg.
 林弥栄, (1969), 有用植物図説林木編, 誠文堂新光社
 北村四郎, 村田源, (1979), 原色日本植物図鑑, 木本編 II, 保育社, 大阪
 Krüssmann, G., (1974), *Rosen Rosen Rosen.*, Verlag Paul Parey, Berlin.
 Wylie, A. P., (1955), *The history of Garden Roses.* Part III. *J. Roy. Hort. Soc.* 80: 77-87
 上原敬二, (1959-1969), 樹木大図説, 有明書房

導入先詳細

Chollipo Arboretum

C. Ferris Miller (Mr.), 344-16 Yonhui-dong,
 Sodaemun-ku, Seoul, 120 Korea

Iwasa, Ryoji (Dr.)

岩佐亮二, 271 千葉県松戸市新作 1-1076

Suzuki, Seizo (Mr.)

鈴木省三, 京成バラ園芸研究所, 276 千葉県八千代市大和田新田 755

U. S. National Arboretum

3501 New York Avenue N. E., Washington, D.
 C. 2002, U. S. A.

Yinger, Barry

Chollipo Arboretum, San 185, Uihang-ni,
 Sowon-myon, Sosan-gun, Chugchong Namdo,
 Korea

属名昇順索引

- 83 S-61 *Abies procera* Rehd.
 81 P-24 *Acer barbinerve* Maxim.
 83 S-129 *Acer crataegifolium* Sieb. et Zucc.
 80 S-3 *Acer davidii* Franch.
 83 S-180 *Acer glabrum* Torr.
 81 P-27 *Acer griseum* (Franch.) Pax
 83 S-164 *Acer griseum* (Franch.) Pax
 80 P-6 *Acer kawakamii* Koidz.
 81 P-20 *Acer mandshuricum* Maxim.
 80 S-1 *Acer miyabei* Maxim.
 83 S-131 *Acer mono* Maxim.
 81 P-28 *Acer olivaceum* Fang et P. L. Chiu
 83 S-132 *Acer palmatum* Thunb. ssp. *amoenum*
 (Carr.) Ohwi
 81 P-21 *Acer pseudo-sieboldianum* (Paxt.) Kom.
 83 S-133 *Acer rufinerve* Sieb. et Zucc.
 80 P-8 *Acer serrulatum* Hayata
 81 S-5 *Acer serrulatum* Hayata
 80 P-7 *Acer* sp.
 81 P-26 *Acer takesimense* Nakai
 81 P-25 *Acer tegmentosum* Maxim.
 81 P-23 *Acer triflorum* Kom.
 81 S-2 *Acer triflorum* Kom.
 81 P-22 *Acer truncatum* Bunge
 82 P-4 *Acer truncatum* Bunge
 81 P-31 *Actinidia melanandra* Franch.
 81 P-4 *Aristolochia manshuriensis* Kom.
 82 S-15 *Berberis koreana* Palib.
 81 P-11 *Bumelia lycioides* (L.) Pers.
 83 S-135 *Callicarpa japonica* Thunb.
 81 P-19 *Calycanthus floridus* L.
 81 P-36 *Campsis radicans* (L.) Seem. cv. *Flava*
 83 S-136 *Carpinus cordata* Bl.
 82 S-4 *Catalpa ovata* G. Don
 82 S-3 *Catalpa speciosa* Warder
 83 S-193 *Celastrus scandens* L.
 81 P-12 *Cephalanthus occidentalis* L.
 81 S-7 *Cercis canadensis* L.
 82 S-5 *Cercis siliquastrum* L.
 83 S-115 *Chionanthus retusus* Lindl. et Paxt.
 82 S-6 *Chionanthus virginicus* L.
 81 S-6 *Cimicifuga racemosa* Nutt.
 83 S-195 *Cornus amomum* Mill.
 81 P-30 *Cornus mas* L.
 83 S-210 *Crataegus douglasii* Lindl.
 81 P-33 *Cryptomeria japonica* (L. f.) D. Don cv.
Senbon-ao-sugi
 81 P-17 *Diervilla lonicera* Mill.
 83 S-178 *Edgeworthia papyrifera* Sieb. et Zucc.
 81 P-34 *Elliottia racemosa* Muhlenb. ex Elliott
 80 P-12 *Forsythia japonica* Mak. var. *subintegra*
 Hara
 82 S-25 *Fraxinus rhynchophylla* Hance
 81 P-35 *Gelsemium sempervirens* (L.) Ait. f.
 81 P-13 *Gymnocladus dioicus* (L.) K. Koch
 83 S-167 *Hovenia dulcis* Thunb.
 83 S-49 *Hydrangea arborescens* L. ssp. *radiata*
 (Walt.) McClintock
 83 S-50 *Hydrangea quercifolia* Bartr.
 81 P-14 *Hydrangea quercifolia* Bartr. cv. *Snow*
Flake
 82 S-27 *Ilex cornuta* Lindl. et Paxt.
 83 S-5 *Ilex decidua* Walt.
 83 S-9 *Ilex montana* Torr. et A. Gray
 81 P-7 *Illicium floridanum* Ellis
 81 P-8 *Illicium parviflorum* Michx.
 83 S-84 *Iris aphylla* L.
 80 P-9 *Iris brevicaulis* Raf.
 83 S-83 *Iris graminea* L.
 83 S-104 *Iris setosa* Pall. ex Link
 83 S-197 *Juniperus virginiana* L.
 83 S-35 *Kosteletskia virginica* (L.) Presl.
 83 S-143 *Lindera obtusiloba* Bl.
 82 S-33 *Lonicera insularis* Nakai
 81 P-9 *Magnolia macrophylla* Michx.
 81 P-10 *Magnolia sieboldii* K. Koch
 82 S-34 *Meliosma obdhamii* Miq. ex Maxim.
 80 P-1 *Microtropis japonica* (Fr. et Sav.) H. Hal-
 lier.
 81 P-6 *Neviusia alabamensis* A. Gray
 81 P-3 *Nyssa ogeche* Bartr. ex Marsh.
 82 P-2 *Nyssa sinensis* Oliv.
 81 P-1 *Nyssa sylvatica* Marsh.
 82 S-10 *Nyssa sylvatica* Marsh.
 81 P-15 *Osmanthus americanus* (L.) Benth. et
 Hook. f. ex A. Gray
 83 S-213 *Parthenocissus quinquefolia* (L.) Planch.
 81 P-18 *Paulownia kawakamii* Y. Ito
 81 P-16 *Persea palustris* Sarg.
 83 S-63 *Picea glauca* (Moench) Voss

- 83 S-65 *Pinus aristata* Engelm.
 83 S-66 *Pinus banksiana* Lamb.
 83 S-69 *Pinus elliotii* Engelm.
 83 S-72 *Pinus resinosa* Ait.
 81 P-29 *Pittosporum* sp.
 81 P-5 *Populus koreana* Rehd.
 83 S-211 *Prunus serotina* Ehrh.
 83 S-162 *Rhodotypos scandens* (Thunb.) Mak.
 82 P-1 *Ribes henryi* Franch.
 83 P-2 *Rosa centifolia* L.
 83 P-11 *Rosa* cv. Burnet Marbled Pink
 83 P-12 *Rosa* cv. Canary Bird
 83 P-13 *Rosa* cv. Frühlingsmorgen
 83 P-14 *Rosa* cv. Frühlingsschnee
 83 P-15 *Rosa* cv. Harison's Yellow
 83 P-16 *Rosa* cv. Soleil d'Or
 83 P-17 *Rosa* cv. Velutiniflora
 83 P-18 *Rosa* cv. Williams' Double Yellow
 83 P-3 *Rosa moschata* J. Herrm.
 83 P-4 *Rosa multiflora* Thunb.
 83 P-5 *Rosa multiflora* Thunb. var. *carnea* Thory
 83 S-47 *Rosa palustris* Marsh.
 83 P-6 *Rosa rugosa* Thunb. var. *alba* (Ware) Rehd.
 83 P-7 *Rosa sambucina* Koidz.
 83 P-8 *Rosa spinosissima* L. var. *altaica* (Willd.)
 Bean
 83 P-1 *Rosa* × *alba* L. cv. Semiplena
 83 P-9 *Rosa* × *hibernica* Templeton
 83 P-10 *Rosa* × *kochiana* Koehne
 83 S-191 *Sambucus canadensis* L.
 81 P-32 *Schisandra sphaenanthera* Rehd. et Wils.
 83 S-118 *Staphylea trifolia* L.
 83 S-153 *Styrax obassia* Sieb. et Zucc.
 83 S-154 *Symplocos chinensis* (Lour.) Druce var.
leucocarpa (Nakai) Ohwi
 83 S-155 *Symplocos paniculata* (Thunb.) Miq.
 82 S-43 *Syringa velutina* Kom. var. *kamibayashii*
 (Nakai) T. Lee
 83 S-113 *Tsuga caroliniana* Engelm.
 83 S-163 *Viburnum carlesii* Hemsl.
 83 S-158 *Viburnum opulus* L. var. *calvescens* (Rehd.)
 Hara
 83 S-161 *Viburnum phlebotrimum* Sieb. et Zucc.
 83 S-160 *Viburnum wrightii* Mig.
 80 P-4 *Wistaria brachybotrys* Sieb. et Zucc. cv.
 Kinpi
 80 P-10 *Wistaria floribunda* (Willd.) DC. cv. Ku-
 chibeni
 80 P-5 *Wistaria floribunda* (Willd.) DC. cv.
 Nagasaki-issai
 80 P-11 *Wistaria floribunda* (Willd.) DC. cv.
 Nishiki-fuji